

事業番号	事務事業名	積載車導入事業費	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
05421	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	築山 弘和
	施策名	41 消防・防災対策の推進	根拠法令等	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 消防積載車については、42台あるが老朽化の度合いに応じて、年次計画により更新して行く。 (業務の内容:手順など) ①仕様書を作成し、入札を行う。②購入契約を締結する。③物品納入後、購入代金の支払いをする。	町村合併後、年次計画により積載車・ポンプを更新している

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 老朽化した小型動力ポンプ付積載車 →	ア 老朽化した積載車	台	見込 実績	34 34	33 33	31 31	30	29
イ →	イ		見込 実績					
ウ →	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 安心して消火活動に取り組める →	ア 更新した積載車数	台	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ →	イ		目標 実績 達成率					
ウ →	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 消防積載車更新 →	ア 更新した積載車数	台	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ →	イ		目標 実績 達成率					
ウ →	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 09		項 01		目 03		大事業 中事業					事業番号			
	一般会計		消防費		消防費		消防施設費		03 02								
	予算上の事業名														05421		
	積載車導入事業費																
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債	4,900	7,200	5,000	5,900	5,900	-2,200	町債	4,900	7,330	5,000	5,900	5,900	-2,330				
その他特財							その他特財										
一般財源	992	854	1,280	1,100	1,100	426	一般財源	984	549	1,116	1,100	1,100	567				
合計	5,892	8,054	6,280	7,000	7,000	-1,774	合計(A)	5,884	7,879	6,116	7,000	7,000	-1,763				
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数		1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間		10	10	10	10	10				
							人件費計(千円)(B)		34	35	33	34	34				
最終予算額		6,280 千円		予算執行率		97.3%		トータルコスト(A+B)		5,918	7,914	6,149	7,034	7,034	-1,765		
主な支出事業内容(予算)	備品購入費						6,176 千円		主な支出事業内容(決算)	備品購入費						6,017 千円	

事業番号	05421	事務事業名	積載車導入事業費	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	----------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
年数の経過により故障等が発生してきている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
配備する地域の状況に応じて装備品の仕様を若干改善している部分がある。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
老朽化している積載車保有分団から整備要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	消防団の重要装備品として、地域住民の生命・身体・財産を守ることが重要であり、消火体制に備えた体制の充実が図られている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域消防は、主に消防団がになっておりサラリーマン団員が多い中、地域との連携が必要。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対応年数を経過しており老朽化が激しいもの(20年以上)がある。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	本事業の取組が成果の向上に繋がっている。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	消防団の機能が低下する。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	現在のところ老朽化が激しいものから配備しているため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	仕様書等は消防団との協議の上で作成しており、削減は困難である。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最低限の人員で対応している。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	配備する部だけではなく、全体的な装備品の充実強化に繋がっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	消防団の重要装備品の導入により地域防災力向上に繋がっており今後も必要と考えられる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 今まで同様、積載車の経過年数や各分団からの要望を整理し、緊急性の高いものから更新し、安心して消火活動に取り組めるようにする。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
消防団との連携強化、意見徴収及び連絡調整。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							